

● 軒先・螻羽(けらば)の役物。

屋根の形状及び屋根葺き材料や軒裏・螻羽裏の仕上げによって、各役物寸法等使用材料が異なる。また「遠近工法」によい場所によっても異なる。

★ 明細寸法や仕口加工(図示による)は後日別紙により記載する。

(破風板)・(垂木形破風板)・(鼻隠し板)・(広小舞い)・(小舞い)・(淀)・(二重淀)・(品板)・(登り淀)・(登り品板)・(軒面戸板)・(軒天裏板)・(螻羽天裏板)。

入母屋の葺(いらか)の壁面で木化粧の場合は。

(前包み)・(木連格子鉾)・(格子子)・(格子貫)・(壁裏板)。

社寺建築等では名称・寸法の違いがある。

(茅負い)・(裏甲)・(登り裏甲)・(瓦座)・(面戸)。

○破風板の場合の成の表示に付いて。～ 腰幅(腰成)とむくりかたるみを表示する。

木じり(下部)は腰成の1割増。拝み(上部)は腰成の2割増とする。

● 野地板(のじいた) 下地板。

野地板(下地板)の拾い出し手法として、仕上げあって、下地ありの原則ありに基づき屋根葺き材の拾い出しを先行すること。

○屋根葺面積の算出方法 葺材料の先端の平面積(形状勾配関係なく)入母屋の様な場合は重なる部分の平面積を算入し、屋根勾配による延び率を乗じる事。

勾配延び率	2.5 寸勾配 ～ 1.031	3.0 寸勾配 ～ 1.044
	3.5 寸勾配 ～ 1.060	4.0 寸勾配 ～ 1.077
	4.5 寸勾配 ～ 1.097	5.0 寸勾配 ～ 1.118
	5.5 寸勾配 ～ 1.142	6.0 寸勾配 ～ 1.166
	7.0 寸勾配 ～ 1.221	8.0 寸勾配 ～ 1.281
	9.0 寸勾配 ～ 1.345	矩勾配 ～ 1.414

○和型瓦葺きの場合は軒先淀面より75mm(2.5寸)螻羽では登り淀より45mm(1.5寸)を瓦平面積に算入する。その他は各メーカーの仕様に記載されている。

○軒先・螻羽に品板等の役物が使用されていない場合、軒先・螻羽延長さ×120mm(4寸)の面積を、野地板・下地板算出の場合に算入することとする。

★野地板(杉板小幅)板1坪=3.636㎡拾い出し面積に注意すること。また野地板継ぎは必ず900mm以内ごと乱継ぎとすること。

野地板拾い出し計算㎡=前記屋根葺面積×1.10～1.15 (端数切上げ)

★下地板(下地合板)900×1800mm(3×6尺)厚さは9・12mmがよく使われている。合板を必ず継ぎは乱継ぎとし、換気 換流が悪いので、透き間を作る為300mm(1尺)間隔に、欠ぎ込み穴を明けると多少は換流が良くなる。

下地合板(3×6板)の拾い出し計算 枚=屋根面積(算入値)㎡×2/3 (端数切上げ)

枚=屋根面積(算入値)㎡÷1.5 (端数切上げ)

合板の斜め切(寄棟)りの切りむだを出さない様に作業すること。